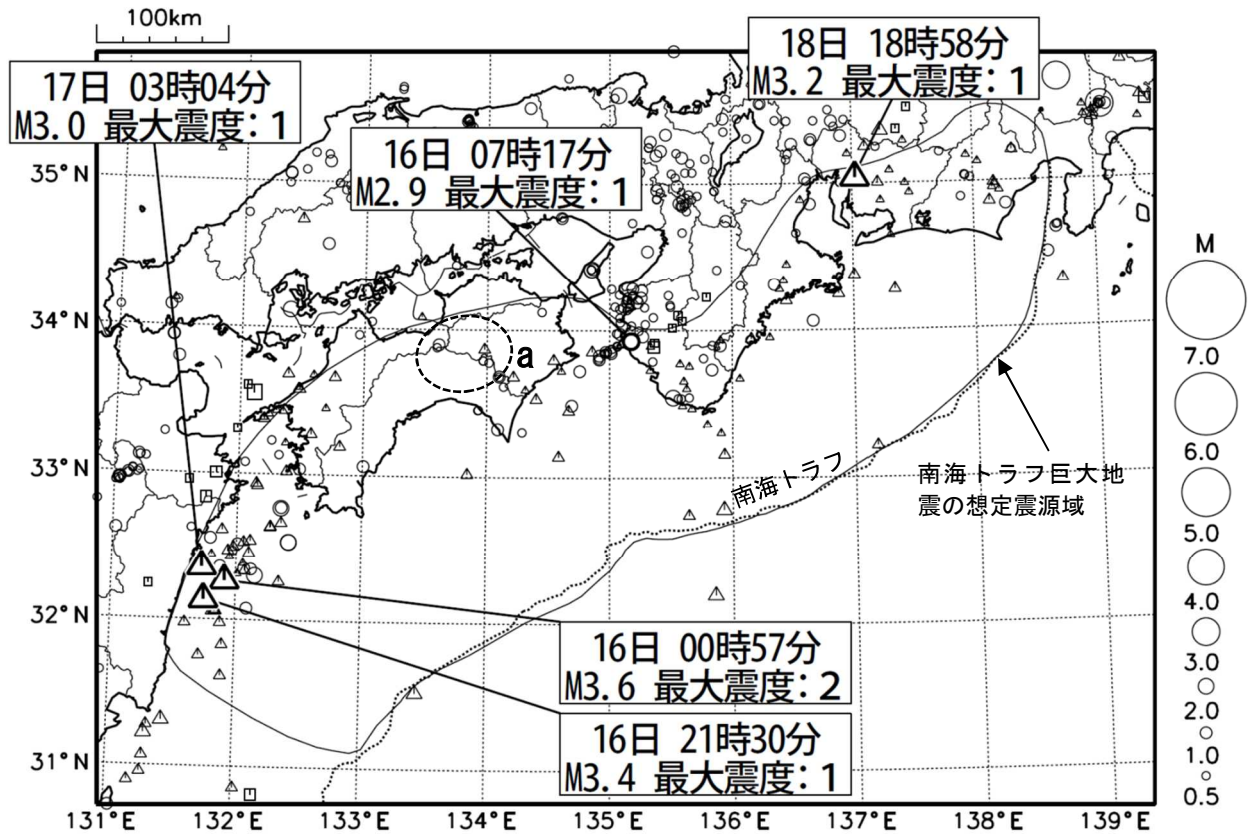


南海トラフ周辺の週間地震活動概況 No. 38

* 震源時、震央地名、マグニチュード等は、再調査により修正することがある。

震央分布図（令和元年9月13日～9月19日）



“南海トラフ巨大地震の想定震源域で震度1以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震”及び“その他注目した地震”に「震源時、マグニチュード、最大震度」を付している（M $\geq$ 0.5、震源の深さ0～90km）。

[概況]

四国東部のプレート境界深部で短期的ゆっくりすべりが発生したと推定される。

[主な地震活動]

- ・16日00時57分に、日向灘の深さ30kmでM3.6の地震（最大震度2）が発生した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。

[主な深部低周波地震（微動）活動^{※1}と地殻変動]

〔領域a〕12日から四国東部で深部低周波地震（微動）を観測している。周辺に設置されているひずみ計^{※2}で、わずかな地殻変動が観測されている。これらは、プレート境界深部において発生した短期的ゆっくりすべりに起因するものと推定される。

※1：上の震央分布図には、震源決定精度が高い地震の震央のみを表示している。このため、震源決定精度が高くない深部低周波地震（微動）の震央は表示していない。

※2：国立研究開発法人 産業技術総合研究所のひずみ計。